

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日： 令和5年12月8日

事業所名：もりの木放課後デイサービス

サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	近所にある公民館や市立体育館等を利用してスペースの確保をしています。	はい24 どちらともいえない2 いいえ0 わからない2	その日の利用状況・支援内容により活動スペースの設定をしています。
	2 職員の適切な配置	定数よりも多い職員を配置しています。	はい22 どちらともいえない2 いいえ0 わからない4	児童分野での経験や専門性を持った職員の配置をするとともに、その日の通所児童の特性に応じた職員の配置を継続していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	言葉が出ない子どもには、あいうえお表で意思を伝えてもらう等、大人になっても利用しやすい方法で伝えることができるようにしています。	はい26 どちらともいえない1 いいえ1 わからない2	室内は明るく、段差のないバリアフリーとなっています。言葉の出ない子どもには随所にひらがな表を置くことで、いつでも伝えやすくしています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	床はタイルカーペットを敷いており、汚れたら洗えるようにしています。 静かに過ごしたい時には、少し壁を隔てた空間で過ごすことができるようにしています。 おもちゃや室内の掃除・消毒を行っています。	はい28 どちらともいえない1 いいえ1 わからない	今後も継続をしていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議や研修を通して、業務の見直しを行っています。職員間で積極的に意見交換をすることで、業務の改善に務めています。		職員全員が共有できるように書面・口頭により意見交換をし、みんなが発言しやすい環境を作るように心がけていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在外部評価は導入していません。		今後の検討事項です。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部での研修(協議会や子ども連絡会の研修、外部講師による研修)、内部では毎月1回会社での研修会に参加しています。		研修計画に沿って研修を今後も行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6か月に1回モニタリングを行い、そこからニーズや課題の抽出し職員間で討議し個別支援計画を立てています。関係機関との支援会議へ参加をしています。	はい27 どちらともいえない1 いいえ1 わからない	今後もアセスメントや分析力の向上に努めます。本人を取り巻く関係者と連携を取っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	生活面での支援等は個々に行うことが多く、集団活動の中で学んでいくことを合わせてやっています。	はい27 どちらともいえない1 いいえ1 わからない	今後は4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた計画の作成を心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	会議やアセスメントにより出てきた課題を元に設定をしています。	はい27 どちらともいえない1 いいえ わからない	アセスメント・モニタリングを元に本人が達成できる目標をたて、しっかりと本人が目標としていけるようにしていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	振り返りをしながら適切な支援を職員全員で検討しています。	はい26 どちらともいえない1 いいえ わからない1	計画に沿って支援をするとともに、問題点が出た時には柔軟な対応ができるように努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月に1回のミーティングの中で活動・支援について検討をしています。		今後も継続していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇には平日にできない全体での計画を盛り込み、平日は個々の状態に応じた支援ができるようにしています。		今後も継続していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	長期休暇についてはプログラムを作り、保護者様にも提示し行っています。製作活動・運動・屋外活動等色々な活動を取り入れて活動をしています。	はい25 どちらともいえない3 いいえ わからない	利用者の目標としているところを取り入れられるように、同じプログラムの中でも工夫をして支援をしていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始時に共有できるようにボードに記載すると共に、口頭にて確認をしています。		職員間での共有事項の漏れがないように文書の確認、子どもの支援の仕方など活動の中で臨機応変に動けるように確認をするようにしています。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了時には、その日の子どもの状況を共有しています。また、月に1回ミーティングの中で支援の仕方について共有をするようにしています。		次回の支援に役立てる為、報告・連絡・相談をするようにしています。今後も支援の振り返り気づきを確認する会等をもっていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の業務日誌、支援記録を行っている。相談員にも毎月の報告により意見をいただくようにしています。		職員間で利用者の状況をよく共有・把握し、検証・改善を継続して支援していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者への面談、本人の様子や話によりモニタリングを行い計画の見直しを行っています。	基本は6か月ですが、利用者の状況により確認を行いながら適切な支援を行えるよう計画の見直しを行っていきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	事業所のサービス担当者会議には、職員皆の意見を聞きまとめて参加するようにしています。	児発管以外にも支援に精通したものが参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	サービス担当者会議等により保育所や幼稚園の頃からの様子も把握できるようにしています。	今後も継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	障害福祉サービス担当者様に状況の説明をするようにしています。	今後も継続していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関の研修に参加するようにしています。	今後も継続して研修に参加していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園で一緒に遊んだり、夏祭りなどの子どもの参加も呼び掛けています。 他	はい9 どちらともいえない3 いいえ わからない16

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地区の中に入り、地域住民の方に事業所を知っていただく工夫をしております。公園などに出かけていき交流の機会を持つようにしています。夏祭りのイベントにも呼びかけをしています。		今後も継続して地域住民と一緒に活動できるように、合同避難訓練や夏祭り等イベントを考え交流の機会を作っていきます。法人の本部が地域住民との交流に取り組んでおり、そちらで企画がある場合は、児童のご家族にも情報提供をしています。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時面接時にご説明をし、変更があった時には書面や口頭でご説明をしています。	はい28 どちらともいえない いいえ わからない	今後も継続をしていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書の作成時にはお家に訪問したり、お迎え時にご説明をさせていただき署名をしていただいています。	はい26 どちらともいえない いいえ1 わからない	今後も継続をしていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	子どもの様子から問題と感じたり、保護者様からのご相談があった時にはご、相談やご相談ができるところをご紹介します。	はい12 どちらともいえない7 いいえ わからない9	子ども連絡会などでの研修を行ったり、共に寄り添って考えていける支援を心がけています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にお話しをしたり、お電話やLINEでのやり取り、来所いただき面談での共通理解をしています。	はい21 どちらともいえない5 いいえ わからない2	話しやすい環境を作ることで保護者様との共通理解を深めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様からご相談があった時には、できる限りの助言をするとともに定期的に面談の機会を持っています。	はい21 どちらともいえない5 いいえ わからない2	今後も面談を通して聞く機会を作り、相談や助言等を行っていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	夏祭り等、催し物を行い参加いただくことで保護者様の連携を深める事ができるようにしています。	はい16 どちらともいえない4 いいえ1 わからない7	保護者様同士が交流を持つことで悩みを解消したり、協力できる関係になったりできるように支援したいと考えています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口のご説明をしております。苦情に対しては迅速に対応することで保護者様が安心できるように心がけています。	はい23 どちらともいえない2 いいえ わからない3	苦情対応体制を整えマニュアルを作成して対応していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	コミュニケーションが取りにくい子どもに対して非言語コミュニケーションを取り入れると共に、言葉かけることで言語を引き出しています。	はい25 どちらともいえない2 いいえ わからない1	子どもにあった方法を見つけていくことを今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	1か月に1回会社全体のおたより、2か月に1回放デイのおたよりを出し、夏休みの行事予定、全体での集まりの会をお知らせするようにしています。 日々の連絡についてはLINEを活用しています。	はい25 どちらともいえない2 いいえ わからない1	今後も継続をしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な	個人情報については鍵のかかる金庫に入れて保管しており、職員にも個人情報の取り扱いに注意すること守秘義務について周知しております。	はい27 どちらともいえない いいえ わからない1	今後も継続をしていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルについては、いつでも見れるようにしており会社全体の会でも研修を行い周知しております。	はい26 どちらともいえない1 いいえ わからない1	今後も継続をしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練は火事・地震・台風・津波・高潮等を設定して6月・9月・2月に行うようにしています。	はい26 どちらともいえない1 いいえ わからない1	今後も継続していきます、今年度は近所の避難場所である公民館にお願いし避難訓練を行う予定にしています。
	3	虐待を防止するための職員研修機 の確保等の適切な対応	虐待防止委員会により報告検討をし、未然に防いだり研修により虐待防止を学んでいます。		今後も継続をしていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	入口の戸については前に道路がある為鍵をかける事を保護者様に了解を得ています。 身体拘束については県のマニュアルを参考にしています。		県のマニュアルを参考に独自マニュアルを整備していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	初回面談時に聞き取りをし、アレルギーのある子どもについては指示書等をいただくようになっています。 職員にも周知をし対応をしています。		今後もおやつやクッキングの際に周知徹底できるように努めていきます。クッキングの際には、毎回食べていいかの確認をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事案については記録に残し、会社の委員会に1か月に1回事案を出し検討するようになっています。 職員全員で共有し、今後同じ事例を起こさないように注意をしています。		今後も十分に注意をして取り組んでいきます。